

第3回知の市場年次大会の報告要旨

開講機関：凜穂会

代表 木積凜穂

はじめまして、凜穂会代表書道家の木積凜穂と申します。

私が40年間書を学ぶ中で一番重要なことは古筆の臨書をするということと指導を受けてきました。漢字五体（楷書・行書・草書・篆書・隸書）仮名の臨書をひたすらおけいこしてきました。高度な見る力、書く力を向上させる為です。

これが非常に難しい事である時金文の「笑」の文字を書けども、書けどもうまく書けず自分の顔が難しい顔、笑っていないことに気づき、文字が笑った顔に見えてないかなーと書いてみたのがModern書Art創作につながりました。

Modern書Artを指導するにあたり、書の基本なくしては語れないので、講座の前半は書道の基本をご指導し、後半は自由に楽しんでModern書Artの制作に致しました。

Modern書Artは、書を身近に感じ、日々の暮らしに書を取り入れてほしいとの思いから絵に一番近い文字篆書をより絵画的にイメージをふくらませて作品にしたり、紙だけでなく、布、木、土、鉄などの素材を使い扇子、のれん、傘、帯、Tシャツなどに仕立て創作するものです。

「書道」に対して、難しい、楽しくないということを時々耳にしますが私は、書は楽しく素晴らしいartであり、日常からかけ離れた芸術ではなく、日常生活を心豊かにする身近なものだという事を知って頂く為のお役に立ちたいと常々考えています。

30時間という短時間で書を修得することはできませんが、この講座では書道の全体を知った上で、広く学び実技を体験し、自分の目標目指すところを見つけてほしいそして、終了後には各々の学びたい書を深く追求し、自己の生活に彩りがそえられることを願っています。

木積凜穂略歴

7歳から書道を習い1999年より教室を開設指導。

2006年の大阪御霊神社を初個展とし下記個展を順次開催させていただきました。

1999年7月 凜穂会教場を開設

2006年10月 modern 書 art 木積凜穂書作展（御霊神社）【大阪水都ロマン】

2007年5月 modern 書 art 木積凜穂書作展（京都法然院）

2007年10月 modern 書 art 木積凜穂書作展（朝日新聞大阪本社アサコムホールにて）

2008年3月 「日仏交流150周年記念京都パリ姉妹都市盟約締結50周年記念
スペシャルイベント」の「ルーヴル美術館における[京都。大阪]関西
の伝統美」に、ルーヴル美術館ナポレオンホールでの展示に参加。
「関西の伝統美」パンフレット題字担当、ルーヴル美術館
ナポレオンホールにて展示、パフォーマンスをする。

2008年6月 modern 書 art 木積凜穂書作展（東京白金）

2008年7月 modern 書 art 木積凜穂書作展（大阪市中央区平野町「高宮画廊」において）

2009年1月 昨年11月「国際手書き文字ART展」での受賞作が、
中国政府組織「ハルピン書法家協会」より「荣誉賞」を授与。

2009年4月 modern 書 art 木積凜穂書作展（キンシ正宗 堀野記念館）

2009年11月 modern 書 art 木積凜穂書作展「愛一心を結ぶ」（フランスパリ）

2010年5月 「鯉のぼり2010」に出品
日仏文化センター主催 ユネスコ・在フランス日本国大使館後援

2010年6月 上海万博（日本館・ミュージックホール）に出品

2011年4月 modern 書 art 木積凜穂書作展 『遊筆町家 凜穂』にて
オープニング 「紡ぐ」開催。